

津市立南が丘小学校だより

かがやく未来

2025. 2. 18

N0.47

夜空にかがやく星のように…



しぶんぎ座流星群の極大（1/2～3）、金星と土星の接近（1/19）、惑星直列（2/28）金星の2重観測（3/18～21）など今年も天文ショーは楽しみにいっぱいです。特に冬は星空の観測に適した季節です。大気中の水蒸気量が少なく星が鮮明に見えるからです。天体に詳しい訳ではない私でもオリオン座や冬の冬三角を見つけることはできます。夜空に輝く星は一見、同じ様に光っていますがその距離は異なっていて、プロキオンは約11年前、シリウスは約8年前、ベテルギウスは約500年も前に放った光を今、私たちが見ているのです。（500年前というと日本では戦国時代の真ただ中で武田信玄の弟 信繁が生まれた年だそうです。）

2月6日（木）には、日本アマチュア無線連盟・南が丘学校支援委員会からお話をいただき、親子天体観察会・講演会を開催したところ、153名という多くの方にご参加いただき、大成功に終わることができました。

ギリシャの詩人ホメロスの「オデュッセイア」に書かれていた古代都市トロイの遺跡をハインリッヒ・シュリーマンという人が1873年に発掘しました。当時の学者たちはトロイの都市は存在しないと誰もまともに取り上げなかったと言います。シュリーマンは「トロイを見てみたい。僕が発掘する。」の情熱を持ち続けたと言われています。彼をここまで思わせたもの、それは7歳の時に父が買って来た1冊の本だったと言われています。

子どもの可能性を開くために大切な事、それはいろいろなことに子どもたちを触れさせ、内面にもっている“もっと知りたい”という知的好奇心を刺激することだと思います。自然の風や光、植物や動物、雲の動きなど日常生活の中にあるものでもいいと思います。目で見たり、肌で感じたりすることで“どうしてだろうか”という疑問を持つことにつながります。これが今、注目されているテストで測定できない見えない学力、非認知能力というものなのです。

今回の親子天体観察会・講演会も子どもたちの記憶に残ってくれると嬉しく思います。夜空に輝く星のように子どもたちの可能性は無数に散らばっていることと思います。1人1人進んでいく道は違ってもそれぞれが星のように自信をもって輝き続けていってくれることを願っています。

3日（月）6年生奉仕作業
4日（火）おはなしのへや（2年）
図書ボランティア
5日（水）安全5 SC 委員会
6日（木）おはなしのへや（1年）
10日（金）皇學館大學学生参観

14日（金）安全5
17日（月）卒業式予行練習
18日（火）給食終了 図書ボランティア
卒業式会場準備
19日（水）卒業式
21日（木）児童会立会演説会
25日（火）修了式

